

3月26日



沖島散策橋 3年間にわたる改修協力に感謝 沖島自治会から奥井総建に感謝状を贈呈

沖島で、林道や散策道の再整備のほか案内看板の設置や草刈りなどを行ってきた「近江八幡市里山再生整備事業」の3年間にわたる事業が終了し、沖島自治会から企業ボランティアとして参画していた奥井総建に感謝状が贈呈されました。

この事業では、沖島小学校から弁財天（巖嶋神社）までを結んでいる散策道にかかる8本の橋のうち、老朽化しているものを順次改修し、これまでに計4本の橋を改修。

同自治会副会長の茶谷昭一さんは「老朽化した橋が順次改修され、観光客をはじめ、地元住民に安心して通行してもらえる」と喜んでいました。奥井総建の奥井敦史代表は「これからも、困っていることがあれば助けたい」と話しました。